

ご利用ください！

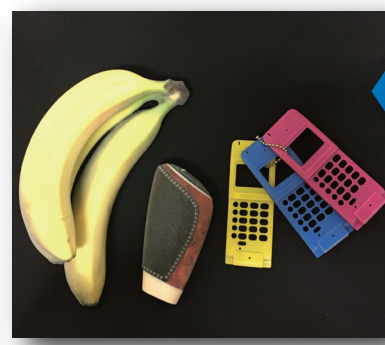
- 技術相談、技術研修、共同研究など、何でもご相談ください。
- 各種技術研究会を組織して、技術の研鑽、技術開発、企業間連携に努めています。
- 開放研究室（企業が活用できるスペース）を準備しています。
- ホームページ、成果発表会や一般公開等による情報発信に努めています。

機器・施設の利用

産業技術センターでは、最新の設備機器を所有しています。詳しくは、お問い合わせいただくかホームページをご覧ください。



ガスクロマトグラフ質量分析装置



フルカラーによる造形品



ハイエンド3Dプリンターシステム



超高分解能電界放出形走査電子顕微鏡



複合環境試験装置



波長分散型蛍光X線装置

交通アクセス



本館



高度技術研究館

<県外から>



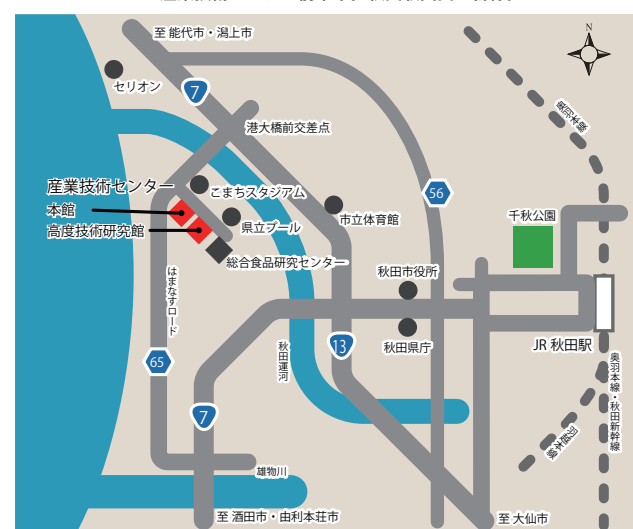
東京ー秋田	1時間5分
大阪ー秋田	1時間20分
名古屋ー秋田	1時間10分
札幌ー秋田	55分
秋田空港ー秋田駅	バスで40分



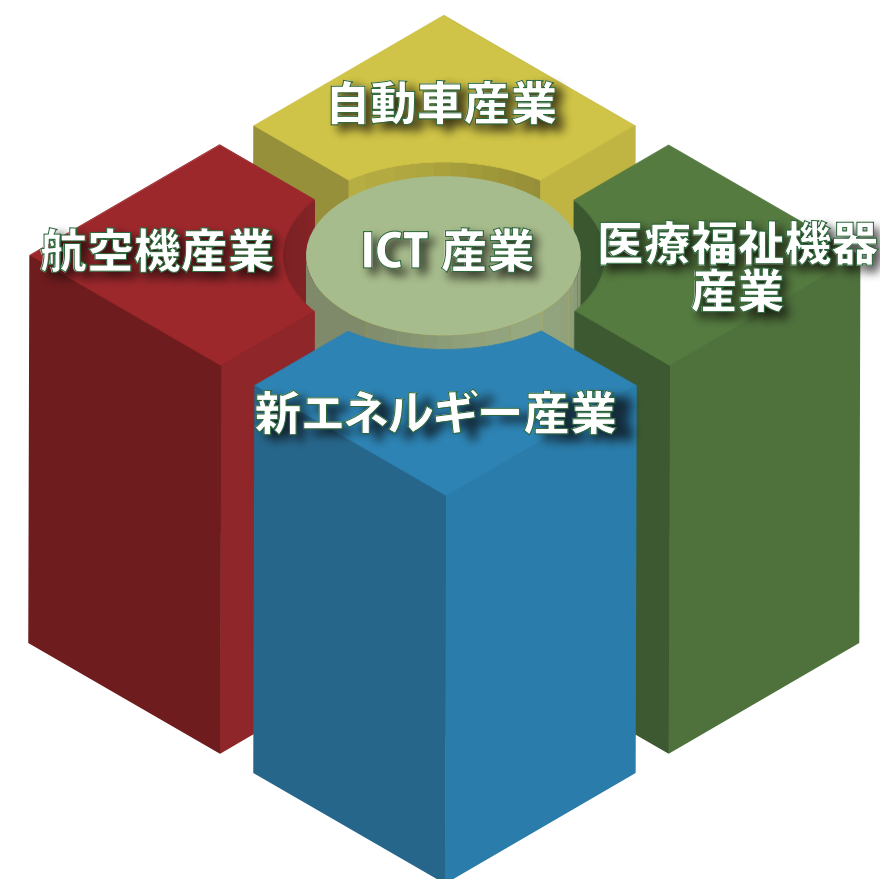
東京ー秋田	3時間37分
仙台ー秋田	2時間20分

<県内から>

JR秋田駅西口バスプールより「146 県立プール線」で約25分。
産業技術センター前下車。秋田駅西口3番線。



秋田県産業技術センター Akita Industrial Technology Center



あきたの成長5分野

ご連絡先



〒010-1623 秋田市新屋町字砂奴寄4-11 TEL 018-862-3414 FAX 018-865-3949

技術相談窓口（技術コーディネート班メールアドレス）soudanshitu@aitc.pref.akita.jp

<https://www.aitc.pref.akita.jp>

改訂日：R4.6.8

基本理念・ビジョン

秋田県産業技術センターは、秋田のものづくり企業の持続的な発展のため「技術ソリューションを提供する HUB 機関」を目指します。当センターは「人と人」「技術と技術」を繋ぎ、企業価値の向上を支援いたします。

実施に当たっては、4つの重点的な取り組みを推進して参ります。

- ① コア技術の高度化：
あきたものづくり創生事業で行う研究開発を通して、当センターが保有するコア技術をより高度化し、県内企業に提供します。
- ② 共同研究：
県内外の企業や大学等の研究機関と共同研究を積極的に行います。
- ③ 人材育成：
デジタルものづくり高度設計技術者育成事業や出前講座の実施を通して、県内企業の人材育成を支援します。
- ④ 技術研究会活動：
10の技術研究会活動を県内外の企業や大学等の研究機関と行いながら、研究会と研究会を繋ぎ、人と人の出会いの場を提供し、人的交流を促進します。

産業基盤強化事業

ー秋田の強みを活かした技術開発で発展をー

秋田県産業の持続的な発展と雇用の確保のために

1. 戦略的な研究開発

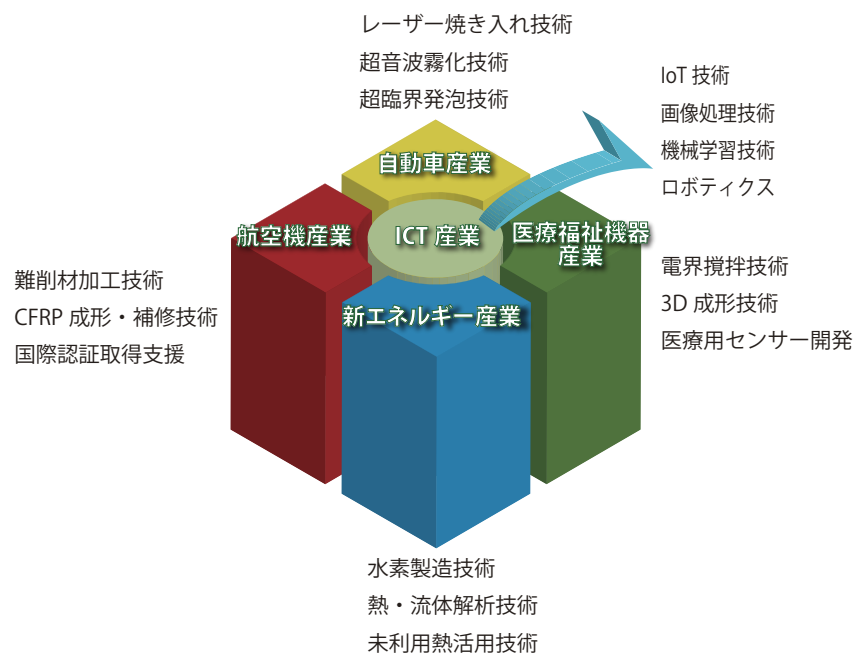
秋田県の「ふるさと秋田元気創造プラン」に基づき、工業技術に係わる研究開発ポテンシャルを結集して県内企業の活性化、雇用拡大を目指します。

具体的には、秋田県が向かうべき産業として設定している5つの成長分野（自動車・航空機・新エネルギー・医療福祉機器・ICT）を核に、研究開発活動を行います。

2. 企業への戦略的・積極的なものづくり力向上支援

蓄積した研究成果や研究員の専門知識を活用し、企業の価値を高めるためのソリューションを含めた支援を行います。

具体的にはデジタルものづくり高度設計技術者育成や出前講座を通じた人材育成に力を注いでいます。



産業技術センターの要素技術

センターが持つ要素技術は、以下の通りです。これらについては専門の研究員を擁しており、皆様のご相談や質問にお答えするほか、共同研究や技術研修に対応するなど、企業支援の本県独自の高度な基盤技術の構築に取り組んでいます。是非、ご活用下さい。

【10の要素】

- ① 情報ネットワーク、画像処理
- ② センサー応用、計測制御、システム制御、機構構造解析、電気・電子回路、機械設計、環境試験（温湿差、振動、衝撃）
- ③ 分析、物性評価、非破壊検査
- ④ 無機材料、複合材料、機能材料、接合、焼結、表面処理
- ⑤ 精密測定、鋳造、金属材料、マイクロ・ナノ計測技術
- ⑥ 機械加工・熱処理、機能性流体、精密研磨・切削技術、摩擦・摩耗評価技術、材料評価
- ⑦ CAD/CAM/CAE、生産プロセス設計
- ⑧ 産業副産物、廃棄物リサイクル、成形加工、高分子材料
- ⑨ 表面・微小解析技術、光学物性解析、電気化学計測、磁性材料、セラミック材料
- ⑩ 高周波技術、デジタル回路技術、電磁場解析技術、信号処理技術、EMS（電磁環境適合性）評価



自動染色装置



排泄センサー



伐倒補助装置

組織図

総務管理部	人事、予算執行、施設設備の維持管理などを行っています。
企画事業部	政策予算編成、研究評価、知的財産権などに関する業務を行っています。
共同研究推進部	共同研究の推進、競争的資金へのチャレンジ支援、研究成果の普及に関する業務を行っています。
先進プロセス開発部	システム制御グループとスマートものづくり技術グループで県内の様々なものづくり支援を行っています。第四次産業革命（シンギュラリティ）で輝く、“製造立県・秋田”を目指し、人材育成と先進プロセスの開発・実証を行います。
素形材開発部	加工技術グループと新エネルギー・環境グループで素形材の基礎技術、応用技術の支援として機械金属加工、プラスチック成形加工、CFRP、熱流体解析などの研究開発を行っています。
電子光応用開発部	オプトエレクトロニクスグループと情報・電子グループで、光学関連技術の支援と、IoT・AI等を利用した情報通信技術関連の支援を実施しております。
先端機能素子開発部	機能性材料・デバイスグループで、硬質材料、熱電材料、焼結材料等の開発や化学成分分析、電気光学効果を使ったデバイスやセンサの開発、電磁波計測および無線給電技術の開発、航空機電動化技術等の幅広い分野を支援します。

具体的なサービスメニュー

センターでは、蓄積した研究成果や専門的知識、設備を活用し、企業価値の向上や生産性を高めるための解決策を含めた総合的な支援を行ないます。

- | | |
|---|------------------------------|
| ・技術相談（無料・随時） | トラブル解決の相談に乗ります。 |
| ・共同研究（有料・期間：半年～3年） | 企業とともに研究を行います。 |
| ・受託研究（有料・期間：半年～3年） | 企業に代わって研究を行います。 |
| ・簡易受託研究（有料・期間：1日～1ヶ月） | 企業に代わって簡易的な研究（分析・計測など）を行います。 |
| ＊期間は目安です。お申込、お問い合わせは「技術コーディネート班」までお願いします。 | |